

尾道市内の全小中学校の普通教室へ エアコンを設置するまでの道のり

令和元年8月末に、尾道市内の全小中学校の普通教室にエアコン設置が完了しました。

子どもたちが少しでも快適な環境で学ぶことができるようにという思いのもとで始まったこの事業が実施に至った経過および運用実績等についてお伝えします。

報告者：文教委員会委員長 柿本 和彦

1. 背景

平成22年以降、夏場の熱中症による救急搬送が一気に増加し、それを受けて尾道市議会でも、幼稚園をはじめ、小中学校での熱中症対策が議論されるようになった。

当時、エアコンは図書室やパソコン教室、保健室などへ設置されているだけで、普通教室に関しては、平成23年度から扇風機の設置がようやく始まったような状況だった。

2. 質疑状況

平成27年9月文教委員会

問：エアコン設置に関する尾道市教委の基本的な考え方を伺う。

答：広島市はエアコン設置の動きを見せているが、他市での動きは特に無い。尾道市でも具体的な計画等は持っていないが、学習環境の面からも課題と捉えているので、研究していく。

平成28年9月文教委員会

問：教室の温度を計測したことがあるのか。高温環境下での学習実態について伺う。

答：室温が35℃を超えるようなデータもあり、エアコン設置の選択肢はあるが、初期投資やランニングコストを考え、エアコンではない他の手段により調査を実施している。

平成29年9月文教委員会

問：全国、広島県、尾道市のエアコン設置率はどのくらいか。

答：平成29年4月1日現在、小・中学校の普通教室と特別教室で、全国平均が41.7%、広島県平均が35.2%、尾道市が17.0%の設置率になっている。

平成29年12月定例会

問：学力向上の観点等も考慮したエアコン設置の計画について伺う。

答：平成29年7月と9月に実施した普通教室の温度測定の結果、エアコン設置は急務だと考え、小・中学校の全ての普通教室等に計453台を整備できるよう、来年度から設計に着手する。平成31年（令和元年）8月末の完了を目指して計画している。

3. 成果・運用実績・事業費

今年度、コロナ禍による学習時間の不足を夏休みの短縮によりカバーしたが、エアコンが整備されていたため快適な環境のもと、授業実施が可能となった。

6月から9月までの期間で、尾道市内の小中学校がエアコンを使用した日数については、平均で59日（授業日：71日）となっている。

《小中学校空調設備整備事業費》（※1万円未満切捨）

		平成30年度	令和元年度
事業費総額		3億2,624万円	5億7,526万円
財源内訳	一般財源(※)	1,654万円	2,395万円
	その他	3億970万円	5億5,131万円

(※) 一般財源…市の自由裁量で使えるお金のこと。主な財源は市税や地方交付税など。

編集後記

表紙の「市議会からのご案内」にあるように、2月22日から2月定例会を開会し、尾道市の新年度予算などの審議を行います。

議会は行政を監視・統制する機能と予算や条例などの議決権を持っていますが、中でも予算の議決権はもっとも重要な権限であると言われています。

これまで経験したことのない新型コロナ感染症拡大の中であって、市民の皆さんが安心・安全に暮らせるための予算について、議会ではどのような議論があり、どのようなことが決まったのか、次回の議会だよりで報告したいと思います。（文責：山戸重治）

●議会だより編集委員会委員

委員長	山戸 重治	宇根本 茂	前田 孝人
副委員長	二宮 仁	三浦 徹	高本 訓司
	大本 和英	飯田 照男	藤本 友行

●お問い合わせ先 [尾道市議会事務局]

〒722-8501 尾道市久保一丁目15番1号

電話：0848-38-9371

FAX：0848-38-9339

★「市議会」・「おのみち市議会だより」に対するご意見、ご感想をお寄せください。お寄せいただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

次号は令和3年5月10日発行予定です。

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。